

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大門小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 国語「言葉の特徴や使い方に関する事項」 算数「数と計算」 <指導上の課題> 個に応じた指導を充実させていく必要がある。確実に理解させるための反復練習が足りない。	⇒ 誤答しやすい例を出し理解を深める。【毎時間】 アルゴリズム(計算の仕方を言語化する)を取り入れて、全員が正しい計算方法や計算順序を確認する。【毎時間】 課題が終わった児童には、ドリルパーク等に取り組ませる。【各単元】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 国語「話すこと・聞くこと」 算数「数と計算」 <指導上の課題> 個人差があり、個に応じた指導を充実させていく必要がある。児童主体の学習活動の機会が十分でない。	⇒ 授業の中でどの学習過程においても、ペアやグループ学習を取り入れ意図的、計画的に協働的な学びを位置付ける。【各単元】課題を全体でしっかり共有し、解決のために必要な資料や文など選択することに自力解決を促しながら、個別にも支援していく。【毎時間】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		① 結果分析(管理職・学年主任等) ② 詳細分析(学年・教科担当) ③ 分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	調査の振り返り(4月) ① 児童生徒による振り返り ② 調査問題の解説 ③ 振り返りの終了報告	
思考・判断・表現	結果提供(7月) 調査結果分析(7～8月) ① 結果分析(管理職・学年主任等) ② 詳細分析(学年・教科担当) ③ 分析共有(児童生徒の実態把握)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)